

審 議 結 果

会 議 名	第3回川口市男女共同参画推進委員会
開 催 日 時	令和4年1月21日（金） 14時30分～15時30分
開 催 場 所	キュポラ本館棟 M4 階 かわぐち市民パートナーズステーション会議室1・2
出 席 者 (委員長に◎、副委員長に○)	◎杉浦委員長、○齋藤委員、石川委員、日下部委員、 小松委員、須田委員、萩原委員、北浦委員、宮野委員 協働推進課事務局：五十川課長、永瀬課長補佐、 上西主査、土田主任
議 題	1 開会 2 報告事項 (1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について 3 その他 4 閉会
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について 資料No.2 第2次川口市男女共同参画計画《改訂》推進指標の結果 参考資料 第5次男女共同参画基本計画（国） 参考資料 埼玉県男女共同参画基本計画（案）

会 議 資 料	別添資料1 令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書 別添資料2 令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査ダイジェスト版
審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

審議経過（要点筆記）

第3回委員会

1 開会

- ・委員長挨拶

2 報告事項

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について

(事務局)

資料No. 1、1 ページ、男女共同参画に関する市民意識調査の結果について、調査対象や回収結果など概要を説明した。

資料No. 2、2 ページの第2次川口市男女共同参画計画《改訂》推進指標の結果について、別添資料1（令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書）及び別添資料2（令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査ダイジェスト版）を用いて説明した。

第2回川口市男女共同参画推進委員会での審議結果を受けて、新たに追加した質問項目について、別添資料2（令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査ダイジェスト版）を用いて説明した。

3 その他

(事務局)

参考資料5ページ、国の第5次男女共同参画基本計画について及び7ページ埼玉県男女共同参画基本計画(案)について説明した。今回の市民意識調査の結果を基に、国と埼玉県の計画を踏まえ、第3次川口市男女共同参画計画を策定していくので、次回以降の審議会において委員の皆様からご意見を頂戴したい。

4 閉会

【質疑応答】

《男女共同参画に関する市民意識調査について》

◇委員長から

資料No. 2、4ページ、基本目標Ⅱ 課題4 ②市男性職員の育児参加休暇取得率について、令和3年度の数字はどうなっているか?

→事務局から回答

令和3年度が終了したのちに、職員課で集計した数字をお伝えしたい。

●委員からの質問

資料No.2 3ページの第2次川口市男女共同参画計画《改訂》推進指標の結果について、目標値が達成できなかった項目が多いが、目標値が高いのか。

→事務局から回答

国や埼玉県の数値を踏まえているため、高い目標値の設定となっている。

●委員からの意見

別添資料2(令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査ダイジェスト版)14ページ(3)女性の管理職登用における課題について「経営層の意識が低いこと」がトップになった。この点、みなさんのご意見をお伺いしたい。

◇委員長から

他の調査では、女性が管理職を望まない理由として「正当な評価をされないことによるモチベーションの低下」が多く寄せられていた。市民意識調査の結果と合致していると思った。

●委員からの意見

ある調査で、経営層や上司から期待の言葉をかけられた女性社員は、管理職を希望する割合が高くなり、男性社員並みになったという。経営層が女性管理職の登用に関心があることを示したり、女性社員の活躍に期待していることをできるだけ言葉にして伝える努力をしなければならない。

●委員からの意見

教育の現場でも女性の管理職が増えてきている。しかし、女性で管理職を希望する絶対数は少ないため、女性は希望すれば管理職になれる可能性が高い。近い将来『校長も教頭も女性』という学校が出てくると思う。

●委員からの意見

会社を経営していて思うことは、女性の仕事が『男性の仕事を補助する』というのではなく、もっと女性が活躍できれば良いと思う。真面目で優秀な女性は多い。

●委員からの意見

市民意識調査は予想していた通りの結果だった。前回の委員会において、性別欄について話し合い『1.男性』『2.女性』『1. 2以外』としたが、結果として『1. 2以外』が4人いた。

別添資料2（令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査ダイジェスト版）13ページ（1）女性の望ましい働き方について、女性の回答で最も多かったのが『子育て時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける』であった。女性自身はパートタイムで働くことを望んでいるが、管理職はフルタイムで働くことがある程度想定されるため、ここに歪が生じている。やはり、経営者の気遣いや声かけが大切であると思う。

●委員からの意見

別添資料1（令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書）143ページ（オ）ユニバーサルデザインでは、言葉の認知度について、年齢階層別で若年層ほど理解が進んでいる。このまま教育を続けていくことが重要であると思う。

●委員からの意見

男女共同参画の促進において、教育はとても大切である。近年、教科書に記載されている言葉は、若年層において理解が進んでいる。

女性の管理職登用について、正社員をしながら子育てをすることは本当に大変であり、特に小学生の子を持つ親は、学校のことや習い事の送迎など負担が大きく、管理職に昇進するどころか、仕事を続けていくこと自体が困難な状況になっている。

●委員からの意見

別添資料1（令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査報告書）67ページ
（イ）介護休業では、若年層ほど介護休業に賛成の割合が大きくなっている。世間ではまだ、介護は「家にいる者がやるべき」という風潮があり、祖母の面倒を看る子どもの存在が問題となっている。

◇委員長から

古くは知らず知らずのうちに「女性はほどほどに、でしゃばるな、トップに立たない、委員長は男性」というような風潮、教育を受けてきた。現実の問題と、年齢別の意識の差、制度、女性管理職の登用など、すべてがリンクしているものである。

会議の内容は、以上のとおりです。

令和4年2月9日

川口市男女共同参画推進委員会委員長

杉浦委員長

川口市男女共同参画推進委員会委員

萩原委員
